



横浜市立義務教育学校

緑園学園

RYOKUEN COMPULSORY EDUCATION SCHOOL

横浜市泉区緑園五丁目28番地 前期課程 ☎045(811)6710 後期課程 ☎045(811)6030

## 何かしら 遠し遠しと 年暮るる (富安 風生)

副校長 田中 光弘

年始には遠く感じられた年の暮れも、気づけばもうすぐというところまで来ました。そういえばと思い起こし、昨年度の12月号にはどのような内容が書かれていたのかを振り返りました。昨年度は様々なことが開校初年度として行われ、各種行事や航空写真撮影、校内授業研究会、学校運営協議会などの進捗状況についてのことが記載されていました。当然のことながら、今年度は「2年目」です。昨年度よりも一歩進めた教育活動になるよう、様々な取組を行ってきました。たてわり活動をはじめ、わくわくドキドキふれあい体験、ペットボトルキャップアートづくり、授業交流など、学年を超えた取組を積み重ねてきました。10月26日・27日に行われた文化祭も、学年を超えた取組の一つです。

文化祭初日には全校児童生徒がメインアリーナに集まってステージ発表を鑑賞しました。文化祭実行委員の生徒による映像と劇、吹奏楽部による演奏で開演しました。前期課程児童による学年合唱、自分たちで振り付けを考えたダンス部の発表、考えられた選曲による吹奏楽部の演奏と、どの演目も素晴らしいものでした。それらの発表を通して特に感じられたのが、昨年を上回る会場の一体感です。前期課程児童の発表に後期課程の生徒も一緒になって歌うシーンや、吹奏楽部が演奏した「アンパンマンのマーチ」に合わせて歌う前期課程の児童の様子など、前期課程も後期課程もなく、一つの学校として楽しんでいる姿を見ることができました。

2日目に行われた合唱コンクールでも、昨年を上回る完成度の発表を聴くことができました。9年生・8年生の発表はもちろんのこと、7年生のレベルの高さに驚きました。担任を中心とした7学年の取組に加え、6年生のときに合唱コンクールをメインアリーナで鑑賞していた経験も生かされていたのではないかと思います。

話は変わりますが、11月22日に令和5年度第3回学校運営協議会が行われました。地域・家庭・学校が協働して進むための意見交換を活発に行いました。当日の会議前、委員の方々に5時間目の授業参観をしていただきました。委員の方々からいただいた授業等の感想を最後に載せさせていただきます。

- ・ 明るく楽しく授業を受けている印象を受けた。とても良い雰囲気の中で授業を受けていた。
- ・ 1年生からICT機器を使用していることに驚いた。操作も習熟していた。
- ・ きめ細かい指導をしている印象を受けた。 ・ 子どもの心をケアできる取組も見られた。
- ・ ICT機器だけでなく、習字の指導も大切にしていることがとても良かった。
- ・ 掲示物の質が高い。6年生から7年生への成長の度合いはとても大きいのだと感じた。
- ・ 5年生の英語の授業が印象に残った。「I have～」と話していて時代の違いを感じた。
- ・ 前期課程は明るく活発に、後期課程は静かに落ち着いた雰囲気の中、しっかりと活動できていた。
- ・ 昨年度よりも、児童生徒からのあいさつがとて多くなった。